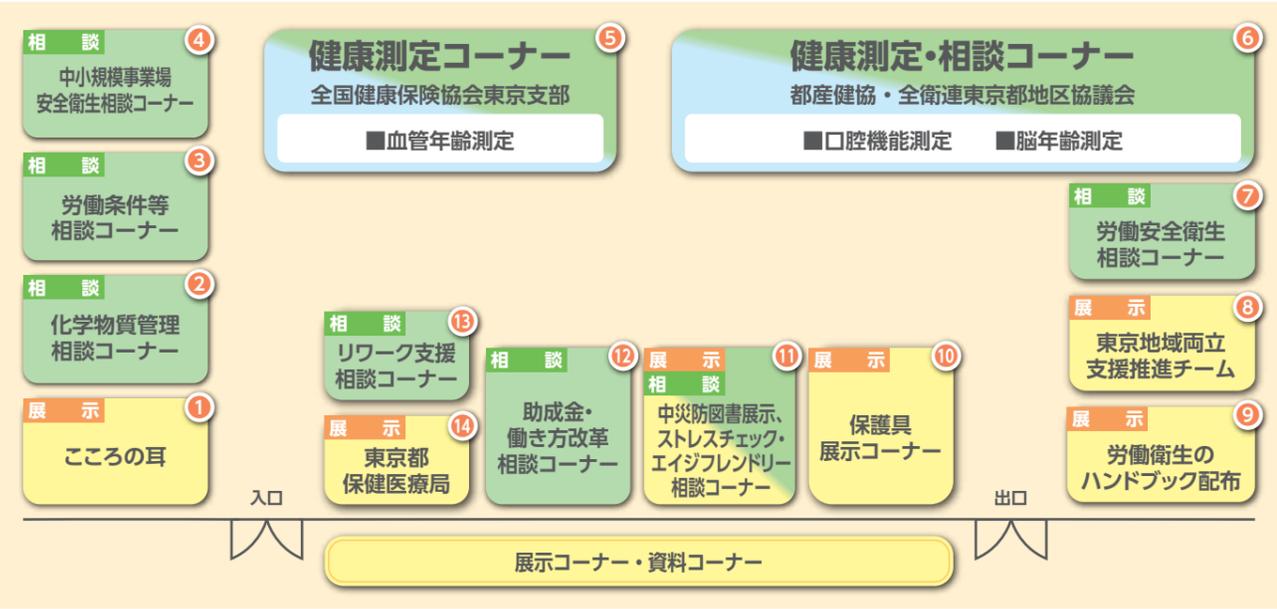


地下1階 大会議室 健康測定・相談・展示コーナーご案内



第30回 産業保健フォーラム IN TOKYO 2025

高齢労働者の健康確保～いくつになっても働ける職場づくり～

健康測定・相談・展示コーナーの内容と出展団体

- ① こころの耳**
 (一社) 日本産業カウンセラー協会 こころの耳運営事務局
 ● 「こころの耳」サイトの紹介
- ② 化学物質管理／リスクアセスメント
 新たな化学物質管理への対応相談コーナー**
 テクノヒル (株)
 ● 化学物質管理の具体的な対応に関する相談
- ③ 労働条件等相談コーナー**
 東京労働局労働基準部監督課
- ④ 中小規模事業場安全衛生相談コーナー**
 (公社) 東京労働基準協会連合会
- ⑤ 健康測定コーナー**
 全国健康保険協会東京支部
 ● 血管年齢測定
- ⑥ 健康測定・相談コーナー**
 東京都産業保健健康診断機関連絡協議会
 全国労働衛生団体連合会東京都地区協議会
 ● 口腔機能測定
 ● 脳年齢測定
- ⑦ 労働安全衛生相談コーナー**
 (一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部
- ⑧ 東京地域両立支援推進チーム**
 東京地域両立支援推進チーム／東京労働局労働基準部健康課
 ● 治療と仕事の両立支援の案内
- ⑨ 労働衛生のハンドブック (令和7年度版) 配布**
 東京産業保健総合支援センター
- ⑩ 保護具展示コーナー**
 (公社) 日本保安用品協会
 ● 呼吸用保護具・保護めがね
 化学防護服・化学用防護手袋の展示
- ⑪ 中災防図書展示、ストレスチェック・エイジフレンドリー相談コーナー**
 中央労働災害防止協会
 ● 図書の展示及びエイジフレンドリーやストレスチェックに関する相談
- ⑫ 助成金・働き方改革相談コーナー**
 東京働き方改革推進支援センター
- ⑬ リワーク支援相談コーナー**
 東京障害者職業センター リワークセンター東京
 ● リワーク支援等の利用案内、情報提供
 ● リワーク支援に関する相談
- ⑭ 東京都保健医療局**
 東京都保健医療局保健政策部健康推進課
 ● 健康づくり関係パンフレット等配布

日時 ▶ 令和7年10月8日 水
開場 9:50 ▶ **開演** 10:20
場所 ▶ ティアラこうとう
 (江東区住吉2丁目28-36)

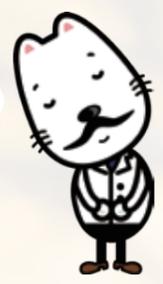
〈主催〉 東京労働局／公益社団法人東京労働基準協会連合会
 独立行政法人労働者健康安全機構東京産業保健総合支援センター

〈後援〉 東京都／特別区長会／東京都市長会／東京都町村会／独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部東京障害者職業センター／中央労働災害防止協会／建設業労働災害防止協会東京支部／陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京支部／港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京支部／公益社団法人東京都医師会／公益社団法人東京都歯科医師会／公益社団法人全国労働衛生団体連合会東京都地区協議会／全国健康保険協会東京支部／東京都産業保健健康診断機関連絡協議会／公益財団法人産業医学振興財団／一般社団法人日本産業保健師会／一般社団法人日本産業カウンセラー協会東京支部／公益社団法人日本作業環境測定協会京葉支部／一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部／東京都社会保険労務士会／一般社団法人東京経営者協会／東京商工会議所／東京都中小企業団体中央会／各地区労働基準協会／日本労働組合総連合会東京都連合会／全国建設労働組合総連合会東京都連合会／公益社団法人日本保安用品協会／公益社団法人ポイラ・クレーン安全協会東京事務所／公益社団法人建設荷役車両安全技術協会東京支部／一般社団法人日本クレーン協会東京支部／一般社団法人日本ポイラ協会東京支部／一般社団法人東京工業団体連合会／一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会／一般社団法人東京都トラック協会／公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 (順不同)

独立行政法人労働者健康安全機構

東京産業保健総合支援センター・地域窓口 (地域産業保健センター都内18ヶ所)

ストレスチェック制度サポートダイヤル: **0570-031050** (平日10:00~17:00)
 〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14日本生命三番町ビル3階
TEL 03-5211-4480 **FAX** 03-5211-4485 (開所時間: 平日午前8時30分~午後5時15分)
URL <https://www.tokyos.johas.go.jp/>



第14次東京労働局労働災害防止計画 推進中!

ティアラこうとう大ホール

開場 9:50 ▶ 開演 10:20

1 挨拶

10:20

主催者あいさつ

東京労働局長

2 基調講演

10:30～11:45

高齢労働者のウェルビーイングと産業保健に求められる役割

法政大学キャリアデザイン学部教授

東京産業保健総合支援センター相談員

廣川 進氏

略歴

法政大学キャリアデザイン学部教授、公認心理師、臨床心理士
大学卒業後、18年間（株）ベネッセコーポレーションに勤務し編集や人事を経験。大正大学博士課程（臨床心理学）修了。大正大学臨床心理学科教授を経て2018年4月から現職。海上保安庁（惨事ストレス・メンタルヘルス対策アドバイザー）、千葉県庁（復職支援プロジェクト）等の官公庁や民間企業で非常勤カウンセラーとして勤務。ストレスマネジメント、中高年のライフキャリアの研修講師等もやっている。

著書：「心理カウンセラーが教える『がんばり過ぎて疲れてしまう』がラクになる本」（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、「これで解決！シゴトとココロの問題」（労働新聞社）等。

講演要旨

高齢労働者が年々増加している。雇用者の60才以上の占める割合は約2割となり、さらに死傷者数（休業4日以上の死傷者数）では25%を超えている（14次防）。経験や技能の継承といった期待が高まる一方、安全・健康面での課題も顕在化している。「人的資本経営」、「ウェルビーイング経営」が広まりつつある中、労働者の安全衛生対策は人材確保、経営戦略につながるとして重要性が高まっている。

多様性にかかれた安全文化の職場風土の醸成、治療と仕事の両立支援、メンタルケア等。産業保健スタッフに求められる新たな役割を検討する。



さんぼくん

安全衛生・リワーク支援等の相談コーナー・
健康測定・展示コーナーを
開設しています。
(B1F大会議室)

3 事例発表

13:30～15:30

事例発表①

13:30～14:30

ケースに学ぶ高齢労働者の健康保持・増進策と自職場への活用

産業医科大学 産業医実務研修センター副センター長 教育教授

柴田 喜幸氏

講演要旨

高齢労働者の安全・健康問題の予防・解決は、産業保健スタッフだけの努力では限界があり、「各職場が」「全員で」「常に」取り組むことが不可欠と考えます。

本講では、その考えをふまえて実践された好事例のご紹介とともに、参加された皆さんが職場に帰りその知見を活用可能となるようなワークを行っていただきます。

それにより、単に「話を聞いて帰る」に留まらず、実効性の高い時間にしていただければと思っています。

一般的に高齢者は脆弱性が高いと考えられます。転じて、このワークを活かした高齢者対策を通じ、職場全体の産業保健のレベルアップの一助となれば幸いです。

事例発表②

14:30～15:00

人生100年時代の口の健康とは ～歯だけではなく口の機能も重要です～

東京科学大学 大学院 医歯学総合研究科

地域・福祉口腔機能管理学分野 教授

松尾 浩一郎氏

講演要旨

みなさんは、最近注目されている「オーラルフレイル」という言葉を聞いたことがありますか？加齢に伴う口の機能の些細な衰えのことを「オーラルフレイル」と呼びます。栄養摂取の入口である「口」の機能が衰えると、気づかないうちに、食事が偏り、生活習慣病やフレイル（身体の衰え）ひいては要介護の一因となると言われています。

いつまでも美味しくご飯を食べること、しっかり噛んで食べられる口の健康を維持することが、身体の健康を維持するために欠かせません。

今回は、口の機能とは？口の機能を維持するために大事なことは何か？について、われわれの取り組みを含めながらお話しします。

事例発表③

15:00～15:30

企業における治療と仕事の両立支援 ～職場の環境整備の視点から～

公益財団法人 明治安田厚生事業団 ウェルネス開発室長

健康経営エキスパートアドバイザー

三橋 由美子氏

講演要旨

厚生労働省のガイドラインをもとに、独自のガイドラインを作成するまでを振り返り、実際に制度を活用するには「自分ごと化」「見える化」が大切だと学ぶ。

健康経営を推進しながら、職場環境の整備を行っているが、大前提として従業員の誰にとっても安全、安心な職場であるかどうか問われる。

オリジナルな健康づくり施策を推進し、その成果をさまざまな企業や地域で実装することを目標としているので、私たちの職場自体がその範となるような仕組みづくりに取り組んでいる。